

「地域との関わりを通して、ともに学び合い、高め合う児童の育成」を目指しています。



あいはら

2026. 2. 27
町田市立相原小学校
校長 百田 明弘
学校便り NO. 11



「2026年度にむけて」

校長 百田 明弘

今年度も残すところ1ヶ月となりました。2024年度の開校150周年の節目の年以降、2025年度から新たな時代に向けて出発できました。よりよい教育活動ができるよう教育課程等のアップデートを行います。

また、今年度もたくさんの保護者・地域の方々を支えられてきました。3月24日には6年生59名が巣立っていきます。1年間ご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2026（令和8年度）教育課程等について【アップデートの視点】

- ① 「よく考える子」の育成のため、今日的な教育課題を検討したカリキュラムを教育課程としていきます。
- ② 「なかよく助け合う子」を育てるために、人権・いじめ・不登校・特別支援にしっかりと向き合います。
- ③ 「からだを大切にできる子」を育てるため、主体的に運動したり、食育に取り組んだり組織的に進めます。
- ④ 「働き方改革」子供たちのために必要な教育活動を限られた時間で計画準備ができるようにしていきます。

①不登校対策・不登校支援について

- 「町田市版不登校対応マニュアル」を踏まえ「未然防止」・「早期支援」・「長期化への対応」を行います。
- 校内研修を行い教職員が不登校の適切な理解や支援の知識・スキルを習得し、学校全体の組織力を高めます。
- 不登校対応教員を決め、SCやSSWも活用し、児童を多面的・多角的に理解するための「チーム学校」で支援していきます。支援シートを活用して、早期支援や長期化への対応に組織的に取り組みます。

②特別支援教育の充実について

- 教員に特別支援教育に関する校内研修会や授業研究を実施します。特にユニバーサルデザインの視点に基づいた指導力の向上及び、学習環境の整備に取り組みます。
- 誰もが共に尊重し合いながら協働していく態度を育むために、障がい理解教育の充実や、みどり学級がある点を活かして、行事や授業での通常学級との連携・交流及び共同学習の機会を積極的に設けます。
- みどり学級の児童は基本的に、始業式・終業式、全校朝会や集会等は各学級と一緒に参加します。校外学習や体験学習も一緒に参加します。みどり学級でも、育てたい力や支援が必要なことを確実にサポートします。
- 保護者-地域に対し、みどり学級や通級（サポートルーム、ことばの教室、日本語指導等）の理解を深めていきます。

③副担任について

学級担任の事務作業等の負担軽減として、副担任の業務を明確にしていきます。（専科教員）

1・2年—1名、3・4年—1名 5・6年—1名 みどり—1名

【主な業務】・出欠の確認、遅刻・早退等の連絡補助、緊急時（避難訓練）の児童確認補助

・給食指導（基本クラスを設定し、学級で給食をとる）、生活指導の窓口

・保護者会、個人面談の資料作成、時間調整の補助、通知表、長期休業中課題の印刷等の補助

④チャイムについて

時計を見て自主的に行動すること、柔軟な授業時間の運用をねらいとして、段階的にチャイムを減らしていきます。まずは、1・2時間目、3・4時間目の間のチャイムをなくします。

相原歳時記（見守りボランティアさん） 木 地域、季節、人物の話題を伝えるミニコーナー 木

1年を通して暑い日も雨の日も、登下校の時間、児童の安全を見守ってくれています。入学から卒業まで交通安全だけでなく、児童の成長も見守ってくださり感謝しています。毎年、お礼のカードをお渡ししているのですが、今年度は児童会代表委員が声掛けや取りまとめをしました。子供たちの言葉から、心の交流の様子が伝わりました。

「暑い日もがんばってくれてありがとう」「朝早くから感謝しています。私も大人になったらやります!」「あいさつをしてくれて、やさしくてすてきなあっておもっています。」「わたしはみなさんがいると安心します。毎日『おはよう』って言われて、すっきりします。」「みなさんのおかげで安心して横断歩道を渡れます。」「朝、元気をもらって学校に行くと、その日いいきもちになります。」「『おはよう』『おかえり』と言ってくれるとうれしくなります。」「朝、声をかけてもらえると、今日もがんばるぞ!と思える気がします。」「見守られていると心があたたかくなります。」「一生懸命なボランティアさんはかっこいいです。」